

現 事 実 認 証 書
 事 実 認 証 明 書

被災職員	氏 名	
	所属部局・課・係	
	災 害 の 日 時	
	災 害 の 場 所	
災害発生 の状況 (報告を 受けた 内容と その対 応)	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
上記のとおり 現認しました。 証明します。		
令和 年 月 日		
住所又は所属		
現認(報告)者		職
氏 名		

[注意事項]

1. この証明書は災害の目撃者(現認者)が「現認書」として作成し、現認者がいない場合は、災害の報告を最初に受けた者が「事実証明書」として作成すること。
2. 現認者(又は報告者)は自分がどのような状況で現認した(報告を受けた)かをできるだけ詳記すること。

* 被災職員の申立てを裏付ける重要な書類となるので、被災の態様をありのままに記載すること。

記 載 上 の 注 意

- ★ 現認者(災害発生を目撃した者)がいる場合は「**現認書**」として、現認者がいない場合は「**事実証明書**」として使用してください。

現認書の場合

- ① 現認書は、災害発生の現場に居合わせた者であればよく、職員に限定されません。
- ② 災害発生を目撃した状況をできるだけ詳細に記載してください。
例えば、被災職員の「叫び声」を聞き、かけよったところ転倒していた、災害現場を通りかかったところ被災職員が倒れていた等具体的な現認内容を記入してください。
- ③ 災害発生直後、被災職員に対して、あるいは他の職員等に対して行った処置及び指示の内容等についても記載してください。
例えば、救急車を手配した、病院へ運んだ、職場へ連絡した等の事実を記入してください。

事実証明書の場合

- ① 災害を知ったときの状況を具体的に記載してください。
例えば、何時何分に被災職員あるいは病院等から連絡を受けた、何時何分に被災職員が出勤してきてその災害発生状況の報告を受けた等、受報の事実及び内容について記入してください。
- ② 災害の報告を受けた後にとった処置等についても記載してください。
例えば、災害の事実を上司に報告した、病院等の医療機関へ受診を指示した等の事実を記入してください。